

守ってあげたいいのちを懸けて

不妊治療の保険適用

不妊治療の公費助成は女性活躍推進と少子化対策の面からとても大切な政策です。菅義偉内閣で大きく前進したものの一つが不妊治療の保険適用です。わが国の総出生数のうち 14 人に 1 人が体外受精によって誕生したと言われています。しかし不妊治療は治療費が高額であり、子どもを持ちたいと考える方に寄り添う政策を考える必要があります。令和 4 年 4 月からの不妊治療の保険適用では、体外受精や顕微授精などの生殖補助医療について、治療回数の制限を設けます。先進医療の妨げにならぬよう、また安全性と有効性も担保していきます。

小児・AYA 世代がん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

また、小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法の経済的支援を始めることができました。これまでは、思春期・若年世代のがん患者さんたちががん手術を行った際に、生殖能力が低下したり喪失してしまうケースがありました。こうしたことを避けるために、思春期・若年世代のがん患者の皆様が手術前に、卵子や胚または精子を長期冷凍保存して、将来望んだ時に安心して生殖医療を受けられるように支援いたします。これまでは神奈川県などが全国に先駆けて助成に取り組んでいましたが、全国規模で小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法の経済的支援を実現できました。



ごあいさつ

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より参議院議員三原じゅん子の政治活動に対しまして、格別のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
また世界規模の困難の中で、いのちと暮らしを守る現場でご尽力頂いている皆様と地域社会を支えて下さっている皆様に、心から御礼を申し上げます。菅義偉内閣では厚生労働副大臣として、重責ある立場から政策決定の現場に関わらせていただきました。このたびの第二次岸田文雄内閣では内閣府大臣補佐官を拝命いたしました。皆さま方から頂戴致しましたお力添えの賜物と、心より感謝しております。
本年は、いよいよ私にとって勝負の夏を迎えます。女性の、こどもたちの、声なき声の、いのちを守りたい。こどもたちの目線に立った、こどもまんなか社会を実現したい。謙虚に、誠実に、おひとりおひとりに向き合い、政治に対する信頼を取り戻したい。その一心で、夏にむけて奮闘する覚悟です。街角や駅前で、もしお会いできましたら、是非お声をかけていただきたく存じます。
これからも皆様のご意見を賜りながら日々邁進致します。

HPV ワクチンの積極的勧奨再開

～キャッチアップ接種の実現も～

私が国会議員を志したきっかけのひとつであります HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンについても大きく進展させることができました。
HPV は子宮頸がんの原因となるウイルスです。わが国では毎年、子宮頸がん約 1.1 万人が罹患し、そのうち約 2,900 人が亡くなっております。咽喉がんや肛門がんなども HPV が原因と言われており、男性にも関心を持っていただきたいウイルスです。わが国では平成 25 年以降、HPV ワクチンの積極的勧奨を中止してきましたが、この 8 年間、国会質問や議員連盟の設立・要望活動や各種講演会の開催など通して、HPV ワクチンの積極的勧奨の再開に向け最新知見へのご理解を訴えて参りました。
皆様のご理解とご声援の結果、令和 3 年 11 月 26 日に HPV ワクチンの積極的勧奨を再開する旨を、厚生労働省から全国の自治体に通知されました。積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した世代へのキャッチアップ接種も合わせて進めていきます。HPV ワクチンの積極的勧奨の着実な再開こそがこれまでの政府の不作为によるがん罹患リスクを解消する唯一の手段であると、私は確信しております。

不妊予防支援パッケージ

～ライフステージに応じた女性の健康推進策～

不妊治療の支援の前段階として、女性特有の病気の意識啓発、早期発見や重症化予防を推進していく「不妊予防支援パッケージ」を取り纏めました。学校・スポーツ現場における養護教員の研修の充実や指導者の教育、アスリートに対する運動性無月経などへのリスク啓発と支援強化をします。そして職場を通して産業医の研修や女性の健康に関わる相談体制の充実を支援いたします。その結果、ライフステージに応じた女性の健康を継続的に支援していくのが不妊予防支援パッケージです。女性の健康と身体を守るために、省庁や各部署を横断して、政治主導で何とか取り纏めることができました。

【横浜事務所】〒231-0015

神奈川県横浜市中区尾上町 2-27

大洋建設関内ビル 9 階

TEL 045-228-9520 FAX 045-228-9523

【国会事務所】〒100-8962

東京都千代田区永田町 2-1-1

参議院議員会館 823 号室

TEL 03-6550-0823 FAX 03-6551-0823

E-Mail info@miharajunco.org

Twitter



FACEBOOK



Instagram



Ameba



プロフィール

平成 22 年 7 月

第 22 回参議院議員選挙にて初当選

平成 28 年 7 月

第 24 回参議院議員選挙にて 2 期目当選

経歴

平成 28 年 1 月

参議院厚生労働委員長

平成 29 年 9 月

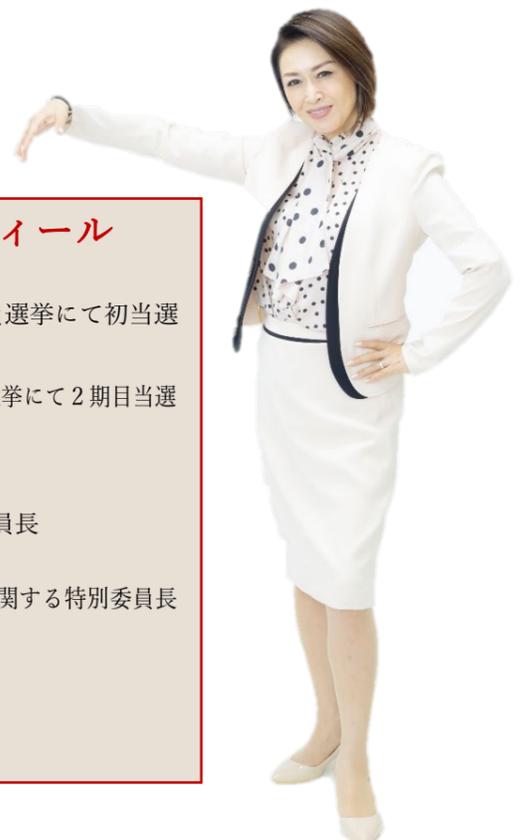
参議院消費者問題に関する特別委員長

令和 2 年 9 月

厚生労働副大臣

令和 3 年 11 月

内閣府大臣補佐官



Mihara

Junko

HPVワクチン再開へ

夏に向けて始動

予防支援パッケージ

不妊 治療の保険適用

小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法

YUMESAKI ANNAI

